

2024 年度水辺の自然再生共同シンポジウム開催要項・次第

激変する水辺の原風景-受け継がれる里山水辺の生き物たち

アメリカザリガニを防除し水辺の豊かな自然を復元・保全

期 日	2024 年 11 月 16 日 (土) 10:00~17:00
会 場	東京環境工科専門学校 (東京都墨田区江東橋)
主 催	水辺の自然再生共同シンポジウム実行委員会 (企画責任団体: NPO 法人シナイモツゴ郷の会、共催団体: 大崎市、旧品井沼周辺ため池群里山未来協議会、シナイモツゴ郷の米づくり手の会、全国ブラックバス防除市民ネットワーク)
後 援	大崎市教育委員会、JA 新みやぎ、TOYO TIRE グループ環境保護基金 (依頼中)

次 第

趣旨説明 シナイモツゴ郷の会 高橋清孝 理事長 10:00

第一部 変わりゆく水辺の原風景 昔と今 (各 25 分) 10:10~11:25

- ① 変わりゆく氾濫原の魚たち-淡水魚の繁栄を支えた超個体群の昔と今、そして未来
近畿大学 細谷和海
- ② 変わりゆく里山ため池の植物-池沼でひっそりと生息するフラスコモ等水生植物の昔と今
新潟大学 加藤 将
- ③ 変わりゆく里山水辺の生き物たち
-新たなアメリカザリガニ防除技術による里山水辺の生態系復元・保全戦略
シナイモツゴ郷の会 高橋清孝・長谷川政智

昼食 12:00~13:00

第二部 水辺の自然再生 取り組み事例 (ポスターセッション) 展示 10:30~15:00

ショートスピーチ (11:30~12:00、各 1~2 分)

ポスター前説明・質疑応答 (12:30~13:30)

1) メインテーマ関連課題の発表

- ① NGO、民間企業、学校、自治体などが管理する環境省「自然共生サイト」について
環境省自然環境計画課生物多様性主流化室 蒲地紀幸
- ② 担い手育成プロジェクト「おおさき生きものクラブ」の成果
大崎市産業経済部農政企画課世界農業遺産未来戦略室 三宅源行
- ③ 里山のため池で生き続ける絶滅危惧種と在来種
シナイモツゴ郷の会 秦 康之
- ④ 伊豆沼の外来種対策と在来植物の保全
宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 藤本泰文

- ⑤ 保全池におけるアメリカザリガニの成長
シナイモツゴ郷の会 佐伯光広・宮路憲昭
- ⑥ 里山小河川の環境DNA調査でわかったこと
東北生活文化大学短期大学部 黒川優子・シナイモツゴ郷の会 高橋清孝・長谷川政智
- ⑦ シナイモツゴを守るシナイモツゴ郷の米
シナイモツゴ郷の米つくり手の会 吉田千代志
- ⑧ 旧品井沼周辺ため池群から採取した埋土種子の栽培試験
宮城県南郷高校 早坂史郎
- ⑨ アメリカザリガニ有効活用の試み-塩水飼育の技術開発とボイルザリガニの品質向上
シナイモツゴ郷の会 君島裕介・高橋清孝、東北生活文化大学短期大学部 黒川優子、南郷高校 早坂史郎
- ⑩ 洞爺湖ウチダザリガニによる被害の実態と連続捕獲装置等による防除
UW クリーンレーク洞爺湖 室田欣弘・シナイモツゴ郷の会 高橋清孝
- ⑪ ブラックバス漁業権問題の矛盾解消に向けて
全国ブラックバス防除市民ネットワーク 半沢裕子
- 2) 環境保全関連自由課題 10 課題程度を募集中
- 3) 自然再生ツールなど実物展示 (シナイモツゴ郷の会他) 10:30~15:00
アメリカザリガニ連続捕獲装置、小型ザリガニ専用トラップ、人工水草等自然再生ツール

第三部 アメリカザリガニ対策の取り組み 現状と今後の方向

- 1) 基調講演 (各 30 分) 13:30~14:30
- ① ネイチャーポジティブ実現に向けたアメリカザリガニなど外来種対策の強化
環境省外来生物対策室 松本英昭
- ② アメリカザリガニによる農業被害と農村環境保全のとりくみ
農林水産省 農村振興局 農村政策部 鳥獣対策・農村環境課 三田 康祐
- 2) アメリカザリガニの防除と今後の取り組み (各 20 分) 14:30~15:30
- ① アメリカザリガニ防除による低密度管理でゼニタナゴ生息池の二枚貝と水生昆虫を復元
シナイモツゴ郷の会 長谷川政智・高橋清孝
- ② 都市公園池のアメリカザリガニ防除と在来種保全
生態工房 佐藤方博
- ③ アメリカザリガニ小型個体の有効活用-好評な丸ごと料理
シナイモツゴ郷の会 君島奈々恵・菊地雄一・早坂史郎・高橋清孝

休憩 15:30~15:40

総合討論 15:40~16:30
座長 シナイモツゴ郷の会 高橋清孝